

理工学研究科の理念・目的

「科学技術を通じて知識基盤社会の進展に貢献する人材の育成」を目標として、その理念を実現するために、理工学研究科には、理工学部3学科に対応する3コースを設けている。博士前期課程の目的は、理工学の分野において、創造性豊かで優れた研究活動を行っていくための広い視野と深い知識の修得及び研究能力の涵養により、高度な専門知識をもって社会に貢献できる技術者又は将来の研究者を養成することである。博士後期課程の目的は、理工学の分野において、高い倫理観と創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者を養成することである。

理工学研究科の教育目標（人材育成方針）

理工学研究科の各コースは、成蹊大学及び理工学研究科の「理念・目的」を踏まえ以下の人材育成方針のもとに教育を行う。

<大学共通>

- 1 広い教養と深い専門知識を備え、課題発見、解決に向けて本質を探究する思考力を養成する。
- 2 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働できる真のグローバル力を養成する。
- 3 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。
- 4 個を具え、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。

<博士前期課程>

<物質生命コース>

- 5 物質・ナノサイエンス、化学・ライフサイエンス、環境・エネルギー各分野の基礎知識と基礎技術を幅広く修得し、新たな科学技術の創造に挑む技術者を養成すること、または研究者の素養を涵養することを目的とする。

<情報科学コース>

- 6 システムソフトウェア・ネットワーク分野、メディア技術分野、さらには情報数理分野を含む多様な情報科学の分野において、幅広い知識の修得と高度な研究手法の獲得により、革新的科学技術の創造に挑む先導的な情報関連技術者を養成すること、または研究者の素養を涵養することを目的とする。

<システムデザインコース・エレクトロメカニクスコース>

- 7 機械工学・電気電子工学・経営工学を融合したものづくり技術の分野において、創造性豊かな優れた研究・開発を行っていくための深い知識の修得および研究・開発能力の涵養により、高度な専門知識と高い倫理観を持って社会に貢献できる技術者または研究者を養成することを目的とする。

<博士後期課程>

<物質生命コース>

- 8 物質・ナノサイエンス、化学・ライフサイエンス、環境・エネルギーにおいて、多次元的な視点をもって革新的科学技術の創造に挑む研究者を養成することを目的とする。

<情報科学コース>

- 9 システムソフトウェア・ネットワーク分野、メディア技術分野、さらには情報数理分野を含む多様な情報科学の分野において、多次元的な視点で先導的な立場に立ち、高い倫理観をもつ発想豊かな研究者を養成することを目的とする。

<システムデザインコース・エレクトロメカニクスコース>

- 10 機械工学・電気電子工学・経営工学を融合したものづくり技術の分野において、創造性豊かな優れた研究・開発を行っていくための深い知識の修得および研究・開発能力の涵養により、高度な専門知識と高い倫理観を持って社会に貢献できる研究者を養成することを目的とする。